
2015年3月期 第2四半期決算説明

2014年11月10日
住友ベークライト株式会社
代表取締役社長
林 茂

2015年3月期 上半期連結業績

[金額単位：億円]

項目	期	2014年3月期	2014年3月期	2015年3月期	前年同期比較	
		上半期①	下半期②	上半期③	金額 (③-①)	増減率
売上高		935	961	998	63	6.7%
営業利益		40	39	48	8	18.9
経常利益		46	40	50	4	8.9
純利益		28	18	33	5	16.9

※ 特別損益

2014年3月期上半期= (-) 3(億円):固定資産除売却損=(-)2

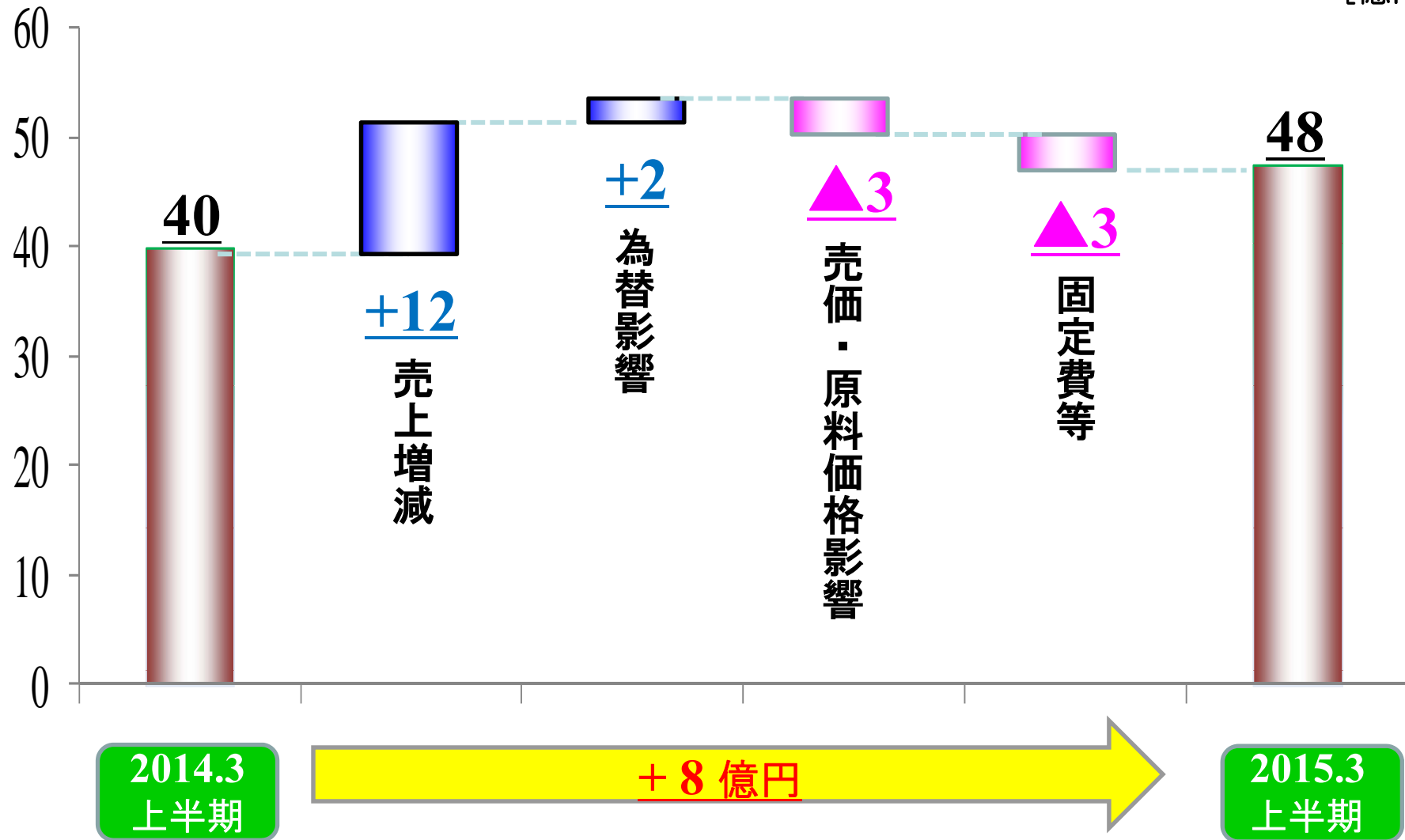
2014年3月期下半期= (-) 7(億円):固定資産除売却損=(-)2,事業再建費用=(-)3,減損損失=(-)2

2015年3月期上半期= (-) 3(億円):固定資産除売却損=(-)3

※ 2014年3月期下半期 退職給付会計数理差異影響額・一部連結子会社決算期変更による影響を除く。

營業利益增減要因（前年同期比）

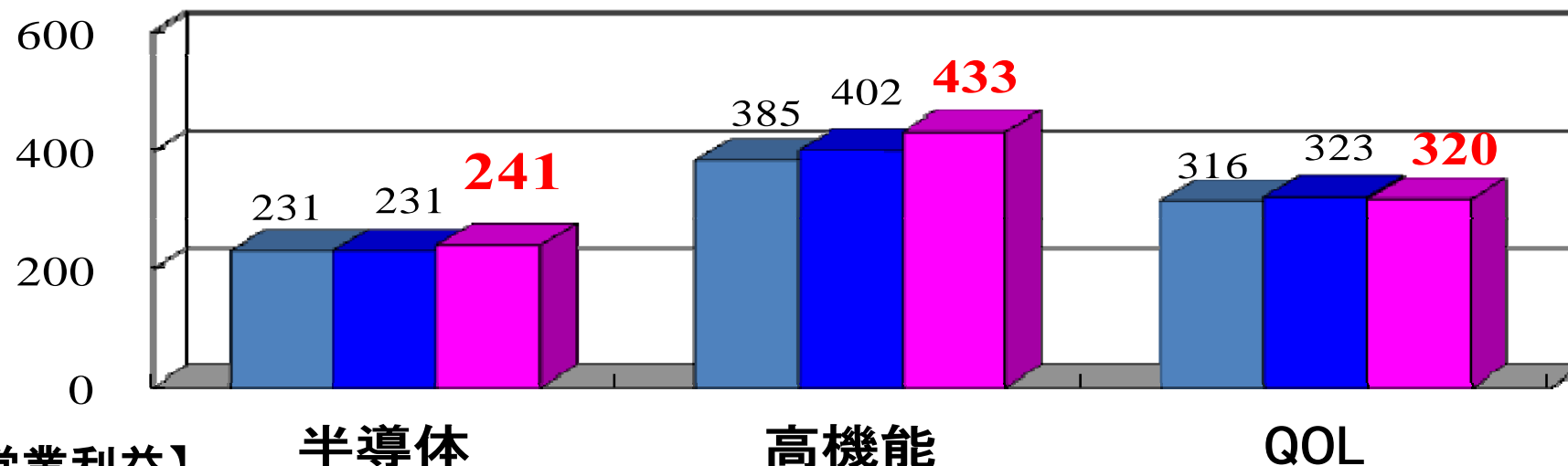
[億円]



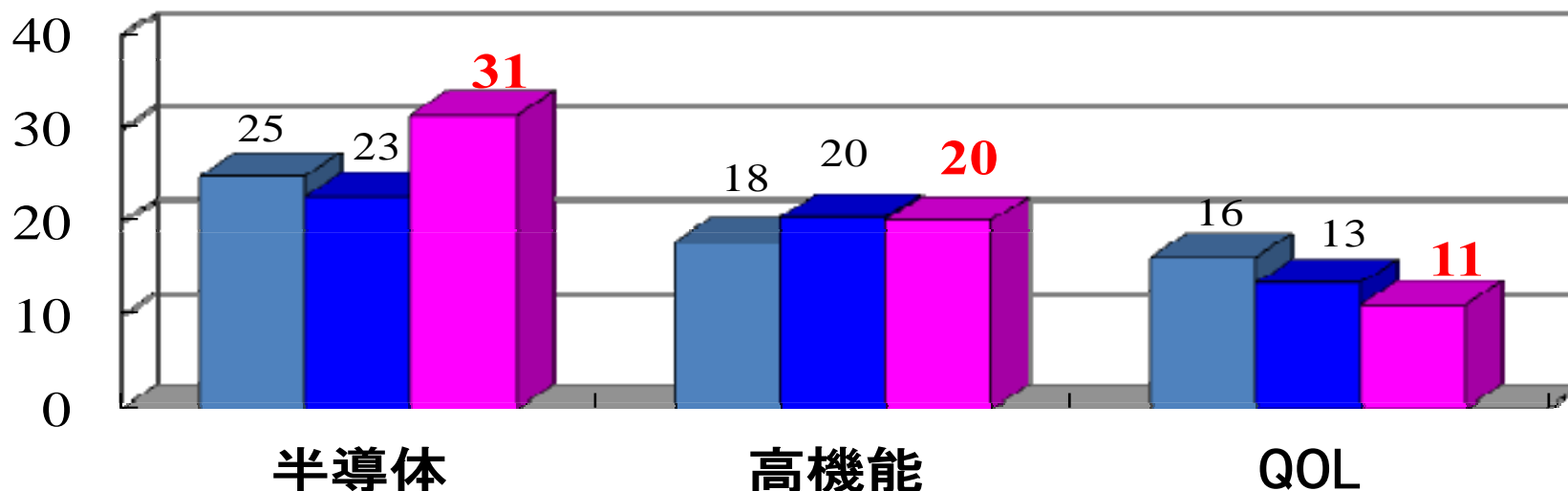
事業セグメント別業績比較

【売上高】

■ 2014年3月期上半期 ■ 2014年3月期下半期 ■ 2015年3月期上半期 [億円]



【営業利益】



※ 2014年3月期下半期 退職給付会計数理差異影響額・一部連結子会社決算期変更による影響を除く。

2015年3月期 連結業績見通し

[金額単位:億円]

	2014年3月期 実績①	2015年3月期 予想②	比較増減	
			金額 (②-①)	増減率 (%)
売上高	2,060	2,100	40	***** %
決算期変更影響	165		-165	*****
実質の売上高	1,896	2,100	204	10.8
営業利益	107	110	3	*****
数理計算差異	15		-15	*****
決算期変更影響	14		-14	*****
実質の営業利益	79	110	31	39.2
経常利益	115	112	-3	*****
数理計算差異	15		-15	*****
決算期変更影響	15		-15	*****
実質の経常利益	86	112	26	30.2
当期純利益	65	63	-2	*****
数理計算差異	9		-9	*****
決算期変更影響	10		-10	*****
実質の純利益	46	63	17	37.0

※ 数理計算差異=退職給付会計数理計算差異、決算期変更影響=一部連結子会社決算期変更による影響

基本方針

“新結合”：個人力、組織力、会社力の新たな結合

国内既存事業の再生、ビジネスモデルの転換

事業の選択と集中：競争優位、有望事業へのリソース投入等

新規事業立ち上げ、創生

ニーズを先取りした次世代製品・ソリューションの創出

海外成長分野の収益力強化、規模拡大

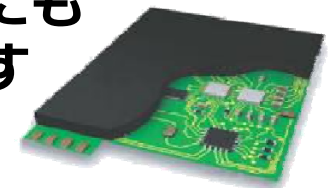
成長領域（地域・用途）の事業強化

：地産地消・ローカル化推進、拠点設置拡充、M&A 等

※M&A等の活用により、新たなビジネスモデル構築

半導体関連材料・下期重点施策

- **先端から汎用ボリュームゾーンでのシェア拡大**
「生・販・研」一体のグローバルネットワークフル活用、
C C S B との連携強化による新規顧客開拓、販売促進
- **半導体パッケージ材料のトータルソリューション提供**
⇒顧客への半導体封止材、バッファコート材、ダイタッチペースト、
L a Z 等の最適な組合せソリューションの提供
- **車載関連、パワーモジュール等の成長領域早期参入**
 - ① E C U 一括封止等車載向けの実績化促進
 - ② **スマートコミュニティ市場開発部設立**（2014年8月）
：民生、車載分野に続き、スマート化する社会インフラ分野にも
情報通信に止まらず横断的にビジネスチャンス掘り起こす
- **半導体パッケージ基板材料「L a Z」の拡販**
 - ① A P 主体からボリュームが見込める製品領域への事業拡大
 - ② 宇都宮新ラインのフル活用による品質、コストの差別化



高機能プラスチック・下期重点施策

■グローバル拠点・事業収益力の強化

①生産体制の最適化

中国：

- ・フェノール成形材料・南通集約化（年内）
- ・南通・絶縁用液状樹脂ライン本稼働

②原料価格上昇へのタイムリーな売価是正



■M&Aによる新たなビジネスモデルの構築

航空機部品事業（米国・Vaupell社買収）

- ・シナジー製品によるラインナップ拡充、新事業領域進出



■成長領域の事業強化、拡大

①用途：シェールガス・オイル採掘関連

⇒ 新規顧客獲得、拡販

②地域：インドでのOEM推進、南米、東欧等進出検討継続

クオリティオブライフ・下期重点施策(1)

■ 医療機器

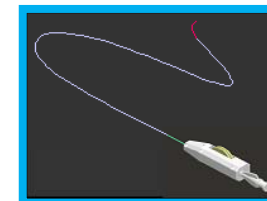
① 国内販路強化（販売拠点(15拠点)+代理店の取引拡大等）

② 開発新製品の販売加速

（循環器・IVR・内視鏡）

③ 海外事業展開促進：

Vaupell社とのシナジー早期発現



■ マイクロ能動カテーテル



■ SBナイフ®

■ フィルムシート

▼ 医薬品包装：

・ 尼崎生産能力増強（2014年6月）

⇒ ジェネリック薬等の需要対応、拡販

・ 医療用具用多層フィルム進出



■ 医薬品用包装フィルム

クオリティオブライフ・下期重点施策(2)

▼食品包装用/産業用

- ・中国南通新工場本稼働（2014年9月）、営業体制強化

⇒地産地消化による販促

- ・差別化製品による拡販

耐ヒ[°]ン/薄型多層フィルム「ECOCeeeL」

⇒廃棄物低減等の環境志向需要の取り込み

■建装材

▼プレート:

- ・偏光板など高収益製品の販売促進
- ・海外拠点の積極的活用、販路拡大

▼デコラ: 業界最薄0.2mm不燃化粧シート「イノベア」

⇒集合住宅、商業ビル等の内装向け拡販

▼防水関連: 一般建築の新築・リフォーム物件の販売促進



■世界貿易センタービル
エレベータ内装



■ホテル、オフィスビル
エントランス壁面